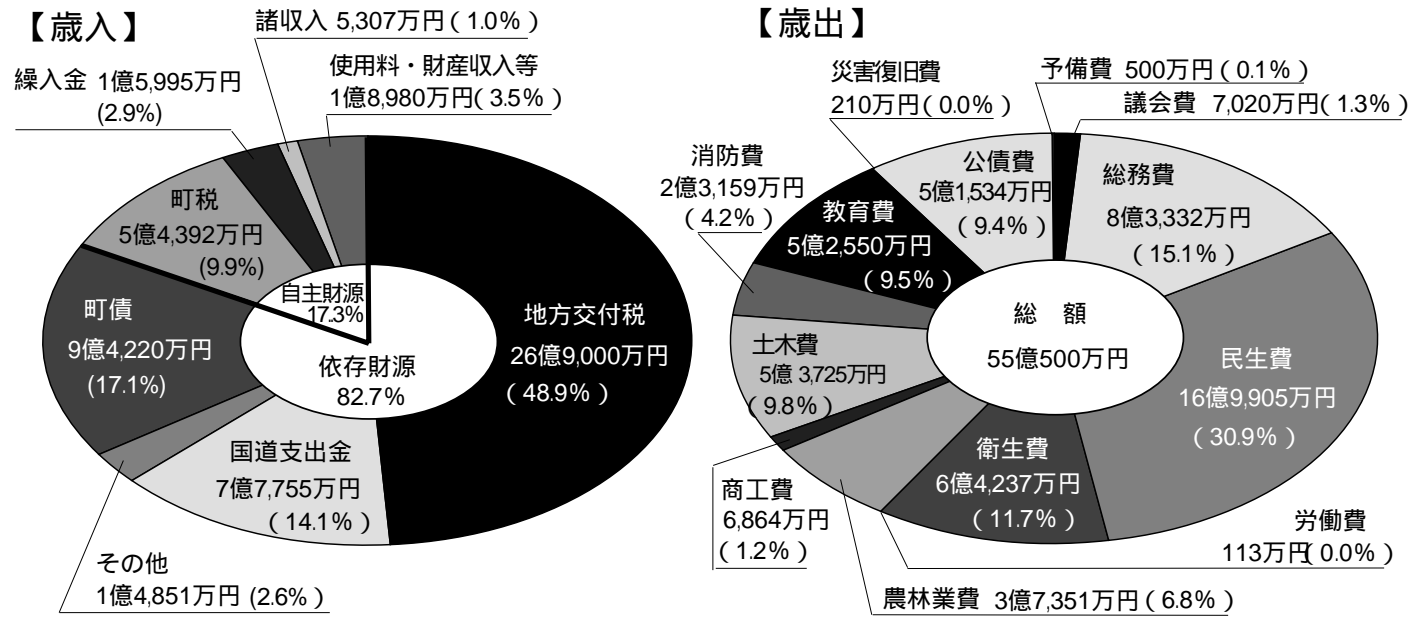


グラフ1 一般会計予算額の科目別内訳



**【表2】(一般会計分) 町民1人当たり予算額**

**1,031,285円**

平成26年2月末現在の住民基本台帳人口5,338人で計算しています。

商工費	農林業費	労働費	衛生費	民生費	総務費	議会費
12,859円	69,972円	212円	120,339円	318,293円	156,111円	13,151円
予備費	公債費	災害復旧費	教育費	消防費	土木費	
937円	96,542円	393円	98,445円	43,385円	100,646円	



# 平成26年度 津別町の予算 77億5千万円の使い道

平成26年度の町の予算が、町議会の審議を経て決定しました。予算の総額は77億5,020万円で、前年度比2.0%の増となりました。また、行政サービスの中心となる一般会計は、55億5,000万円で前年度比6.2%の増、今後厳しくなるであろう地方財政をしっかりと見据え、効果的な行政運営に取り組みます。今月の特集では、町の予算内容についてお知らせします。

【表1】平成26年度会計別予算額の内訳

会計名	予算額	前年度比
一般会計	55億500万円	6.2%増
特別会計	国民健康保険事業特別会計	9億820万円 2.2%減
	後期高齢者医療事業特別会計	9,760万円 12.4%増
	介護保険事業特別会計	5億1,770万円 10.7%増
	介護サービス事業特別会計	0万円 皆減
	下水道事業特別会計	4億8,470万円 15.3%増
	簡易水道事業特別会計	4,210万円 1.2%減
企業会計	上水道事業会計	1億9,490万円 20.7%増
合計	77億5,020万円	2.0%増

**一般会計** 前年度比で6.2%の増  
町民の生活全般にわたる施策を行うために経理するのが「一般会計」です。平成26年度の一般会計の予算額は、表1のとおり前年度比6.2%増の55億5,000万円となりました。前年度は町営バスの廃止に伴う基金の組み換え分4億3,600万円が含まれていたことから、実質的には前年度比16.0%の大幅な増となりました。この要因は、主に認定こども園の建設事業関連経費によるものです。

**特別会計** 特別会計予算は前年規模を下回る  
特別会計等の増減の主な要因につきましても、国民健康保険事業特別会計は一般被保険者保険給付費の減額、後期高齢者医療事業特別会計は広域連合納付金の増額、介護保険事業特別会計は居宅介護サービス等給付費の増額、介護サービス事業特別会計は民間移譲に伴い平成25年度で廃止。下水道事業特別会計は下水道整備費の増額、簡易水道事業特別会計は総務管理費の減額によるものです。

**依存財源の8割を超える**  
一般会計予算額を科目別に見たのが上のグラフ1で、歳入は左上の円グラフです。国から交付される地方交付税が26億9,000万円(前年度比0.4%減)で歳入の48.9%を占めています。これに国・道支出金、地方譲与税などを加えたものが依存財源と言われるもので、歳入全体の82.7%を占めています。また、町債は認定こども園整備事業による民生費の増額により、前年度比136.3%の増となりました。

**歳出の公債費は8.5%の減額**  
次に、右上の円グラフは歳出を科目ごとに表しています。歳出の9.4%を占める公債費は、事業を実施するときに借りたお金の償還金で5億1,534万円を支払うこととなりますが、昨年度から比較すると4,811万円の減額となっています。

**町民1人当たり予算 1,031,285円**  
また、表2は、今年の一般会計の予算額を町民1人当たりで割り返した金額です。町民5,338人の一人当たりの金額は、1,031,285円となり、それぞれの科目に振り分けられた予算は、まちづくりや皆さんの暮らしに役立てられます。